

第 8 期 小金井市地域自立支援協議会 部会協議活動報告

協議事項	(1) 障害者計画策定に係る課題の再確認について (2) 「障害者（児）・家族防災のパンフレット」について
開催日等	令和 5 年 7 月 1 2 日（水）
部会名・記録担当委員	相談支援部会 ・ 鴻丸
<p>【協議概要】</p> <p>(1) 障害者計画策定に係る課題の再確認について 6 月 7 日全体会で提出した課題シートに国の方針、出された意見を委員意見として追加した。協議した内容は部会長預かりとして合同部会で集約する。 それぞれの時期計画に向けた課題について検討。</p> <p>① 資料 1 - 1 ○地域の中でお互いの顔が見える交流が必要。町会に民生委員がいるが、欠員をなくすることが第一に必要。災害時のことも民生委員が把握しているからできることがある。 ○教育活動は早期発見につながる。家庭、学校、地域でも勉強できる機会が必要。警察が障害者のことを理解しておらず、通報しても対応してもらえなかったことがある。</p> <p>② 資料 1 - 2 ○就労の受け皿と対策が必要。療育教育などの部分は具体的にないので難しい。 ○障害はすぐにわかる障害とある程度経ってからわかる障害があり、それぞれ違う。子供の療育は個別に違うので難しい。また、通所、訪問、医ケア児など社会情勢も変わってきている。子供のサービスの利用者負担も親の収入によって違う。 ○子供への支援は親もセットであるため、親への支援も入れたほうがよい。</p> <p>③ 資料 1 - 3 ○福祉総合相談窓口は知られていないため周知が必要。 ○土日、夜の支援体制を構築すべきではないか。 ○災害時の保険・医療・個々の障害者に対する災害時対応の検討必要。</p> <p>④ 資料 1 - 4 ○当事者から積極的に提案することが大事。当事者でないとわからない。 ○災害時は聞こえない立場では情報が必要。しかし手話通訳者も被災することも考えられる。 ○医療ケアの人を体育館では難しく、家が被災しなければ家にいるしかない。</p>	

(2) 「障害者（児）・家族防災のパンフレット」について

- ① 8月23日のワーキンググループでさらに協議する。
- ② パンフレットにはSPコードついているが、ユニボイスの方がスマートフォンで使える。どちらを掲載すべきか。
 - SPコードは専用の機械が必要。スマートフォンで使えるユニボイスの方が便利ではないか。
- ③ パンフレットの指文字表を掲載できないか。
- ④ P19 非常用持ち出し品 手指消毒用アルコール追加希望すべき。

(3) その他

- ① 参考資料 東京都地域自立支援協議会支援会について
- ② 地域生活支援拠点等による「緊急」の定義について
 - 質問・意見
 - ・生命、健康、当面の安全ということか。
→あくまで拠点事業ではお見込みのとおり。
 - ・主たる支援者が通常時行っている支援が外れた状態も緊急ではないかと考える。
 - ・短期入所を利用していない方の対応は。
→障害福祉センターの緊急一時保護の利用を想定。
 - ・定義を定める意図は。
→定義に該当する緊急対応については、本来の障害福祉サービスの支給量を超えた場合でも市が必要分を支給することを想定。

【次回の開催日程】

令和5年8月23日（水）午後5時 第二庁舎801会議室